

森のひろば

261号

2023年 3月発行 宇佐市民図書館



たびだ きせつ
旅立ちの季節になりました

6年生のみなさん、ご卒業おめでとう
ございます。

今まで図書館や、ほんの森号・ほんの
夢号にたくさん来てくれてありがとうございます。
ございました。

みなさんと過ごすことができて、楽し
かったです。

卒業する前に、返していない本がない
かしっかり確認しましょう。

これからも、本をたくさん読んでくだ
さいね。図書館にもぜひ、遊びに来てく
ださい。



キャラクターのようい
うかいておかあさん
をです。とくにねこは
くまとかいけぬかおか
かあいかたです。の
本をまたかいたいで
す。



安心院小1年 あべ かなで
『すみっコぐらしまちがいがし』



ほんの森号 3月の特集

春いっぱい

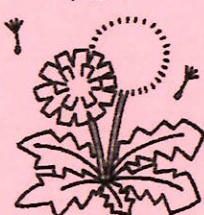
3月になると寒さもゆるんで、草木
が芽吹いたり、動物や虫たちが活発に
動くようになって春が来たのを感じます。

みなさん、春から連想するのは何ですか？

卒業式などのイベントや、春に咲く花だったり、旬
の食べ物だったり、人によって違うと思います。

今回は、春が登場するお話を特集しています。

まだ寒いよという人も、本の中の春を感じてポカポ
カした気持ちになってくれると嬉しいです。



★3月の特集より、本の紹介★

『ほわほわくら』ひがしなおこ／著

『あるひはるがきていました』小瀬 もも／著

『ひみつひみつのひなまつり』鈴木 真実／作

『はるって、どんなもの？』あさの ますみ／作

『ねずみのオスカー』はるのおくりも

リリアン ホーバン／作

この他にも、あります。

ほんの夢号 3月の特集

春をさがそう

3月になり、だんだん暖かくなってきましたね。
外では色とりどりの花や、昆虫などを見かけるよう
になり、春を感じられるようになりました。

今回の特集は、「春をさがそう」です。

春の花や自然についての本や春のお話などを集め
ましたので、みなさんも、学校や家の周りに春をさがし
に出かけてみませんか？

いろんな発見があって楽しいですよ。

★3月の特集より、本の紹介★

『タンポポ』岩間 史朗／著

『れんげのおきやくさま』七尾 純／文

『よもぎだんご』さとう わきこ／著

『ころわんがはるみつけ！』間所ひさこ／作

『すみれとあり』矢間 芳子／著

『タンポポの金メダル』山本 早苗／作

この他にも、あります。



う さ し み ん と し ょ か ん
宇佐市民図書館

〒879-0453 宇佐市大字上田 1017-1

でんわ／0978-33-4600

ファックス／0978-33-4679



安心院小2年

えとう ありさ

『ほげちゃん』



ほげちゃんの本がおもしろかったです。

和間小3年

でぐち

出口 りあ

『おぼけのアッチと』

ドラキュラスープ

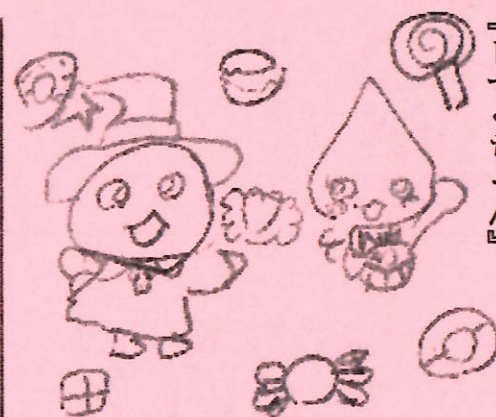


わたしもドラキュラスープをのんでドラキュラの気分になりたい!

安心院小1年

あべ ことは

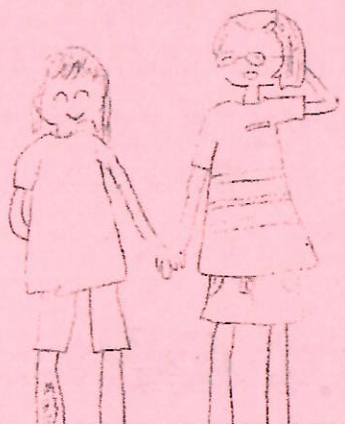
『しずくちゃん』



かわいいし、すごいおもしろいけど、すこしおれいけどみんなでおるとたのしいです。しずくちゃんやみるるんのふくせうもかわいいです。

北馬城小5年 岩根 陽和

『わたしの苦手なあの子』



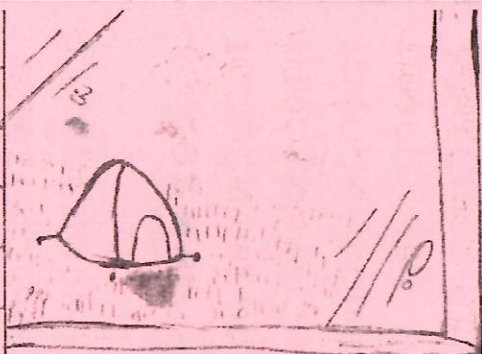
最初はおたかい苦手だったけど、おじいちゃんのおかげで、二人の仲が、ちぢまりさいしゅう的には、大親友になったお話です。リサという女の子が大きいけがをしてしまい、前いじめられていたことがあったけど、その自分を変えたいという気持ちがあり、二人でのりこえたお話です。

北馬城小5年

たしま みづき

田嶋 美月

『流れ星キャンプ』



男の子の圭太と、平井さんが、キャンプをして、いろいろな仲間が、ふえるお話です。明里も病院の先生たちも出てきて、おもしろいです。いろいろなことが、おきて、おもしろいです。ぜひ読んで、みてください。

北馬城小5年

まつもと

はるか

『AIのサバイバル 2』



A1のサバイバル図でショとジュとミナがバーチャルシティから出れるようにユゲンという人と、いっしょに出ようとしていてバーチャルシティから出ることができた話です。

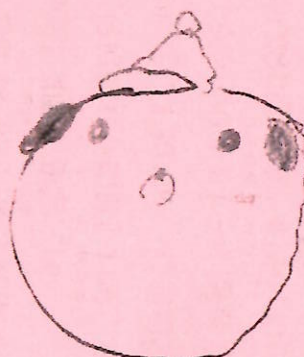
和間小3年

さかもと

めい

『ちさなちいさな』

こおりのくに



ポコポコがころんだときには、雪だるまになって、おくのほうへ、みすくときには、そこは、こおりのくにでした。雪だるまになったポコポコが、かわいかったです。となりのアリもかわいかったです。

和間小6年

いちば

市場 ほのか

『ラストで君は』

「まさか!」と言う

まよなか どうぶつえんへん 真夜中の動物園編

「オレオレタメキ」というお話で「オレオレ」という人をもたまし食べ物をもたましタメキがいました。しかし何度もたまし続け、たまたま対策をとられ、つかまえられると、目にあたたかさは、もう感じないだろうと、言われてしまっています。ずっと「オレオレ」と言ってきたので、たまたまさもないなと、思い面しうかたです。

令和三年度・四年度に投稿

いただいた「森のポスト」より紹介しています。

学校名・学年などは、投稿時のものです。